

みて！みて！きて！ ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
天神3丁目11番31号
電話 23-5144

令和2年 3月号

1	日	休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	古着回収日 10時～12時
7	土	休館日
8	日	休館日
9	月	布ぞうり作り 10時～15時
10	火	
11	水	
12	木	着物～チュニック 10時～15時
13	金	
14	土	休館日
15	日	休館日
16	月	布ぞうり作り 10時～15時
17	火	
18	水	
19	木	着物～チュニック 10時～15時
20	金	休館日（春分の日）
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	
31	火	

学びを通して考えさせられたこと

アドバイザーを拝命して早や20ヵ月が経とうとしている。その中で、見学、定例会を通して色々学習させていただいた。その結果、気になる事が2点ある。

一点目はプラごみの多さである。二点目はごみ出しに関して高齢者（独居含む）対策である。

日常生活を見回しても何とプラごみの多い事か。プラスチックのない生活は考えられないのが現状。なぜこの様に増えた？増やした？のか。安価・加工しやすい軽くて割れないから？ ごみ全体に占める容リ包装プラは約60%とか。その中で日本のプラスチックリサイクル率は25%、熱回収57%、未利用18%のデータがある。また、最新のデータでは、海洋流出プラスチックは日本6万トン、中国353万トン・・・。

マイクロプラスチックも深刻である。上流に住む上田地域は何をすればいいのか？将来の事を考え、無駄なプラスチックは買わない・使わないという事を生活の中で実践する事だと思う。

二点目は高齢者（独居含む）対策である。

高齢者増加（全国民の65歳以上28%、75歳以上7人に1人）となっている現実を踏まえて介護・福祉関係、自治会等、行政全体で対策を講じる必要があると思う。

良く見えない・聞こえにくい・忘れる等様々な症状が結果ごみの分別が出来ない、ごみ出しを忘れる、出す事を忘れる、など迷惑になるからとごみを出さなくなる。それに伴い田舎部では野焼きをしたり、最悪ごみ屋敷化。今後早急に対策を検討していかなくてはと思う。理想を述べるのではなく市行政部門が旗振りをしていただきたいと思う。

明日は我が身なのですから。

☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

3月6日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

：：：：学ぼうごみの現状を：：：：

ごみの正しい仕分け方、現状を知るだけでも勉強になるかなとこの仕事を受け、任期もあとわずかで終わろうとしています。

不勉強で市から出される「3R」の基本理念も見過ごし、ゼロからのスタートでした。3Rの中でもReduce（リデュース）ごみを出さない事。これが一番。

物の無い時代に育った私達は、物を手に入れる事、たくさん持つことが幸せの様に錯覚し、必要以上に大量生産、大量消費の中に生きてきてしまいました。その結果大量のごみ。

一人の人間の一生のごみの多さに今愕然としています。

レジ袋の有料化が言われていますが、コンビニ、スーパーのレジ袋は基本廃止にしたらと思います。

この頃、愛媛県のメーカーが群馬大と共同開発したレジ袋は、海でも分解されて、害が無いとか…。その様な物が可能になったら少しは良いかも知れませんが、プラ製品の多さにウンザリです。

アフリカの国によってはレジ袋を持っているだけで犯罪になるとか…。

環境破壊、異常気象、私達人間がしてきた結果です。

しっかり生活を見直していかなければと思います。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



わくわく講座 (参加費各回 100円)

申し込みは、3月2日(月)以降、
電話でエコ・ハウスへ(受付は電話のみ)。

★布ぞうり作り(定員10名)

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、浴衣、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

日時 3月9日(火)、16日(火) 午前10時～午後3時 (2回コース)

持ち物 ものさし(30cm)、布用はさみ、昼食

材料費 30円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

(浴衣、シーツ、布団カバー等ほどいて、布を5～6cm幅に裂いて持ってきてください。)

★着物からチュニック作り(定員8名)

日時 3月12日(木)、19日(木) 午前10時～午後3時 (2回コース)

持ち物 着物(ほどいて)、裁縫道具、型紙用紙、昼食

諸経費 100円

材料費 別途

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 TEL23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>